

か お ん

加温ちゃん

IMO-H

取扱説明書

野菜凍結防止

サツマイモ保存

旧型保冷库
有効活用

※電源コード用穴あけ(φ22mm)等
が必要となります。



注1.貯蔵物は定期的に確認してください。
注2.既に病んでいるものは入れないでください。
(詳細は6ページの説明をご参照ください。)

目 次

ご使用の前に	1
機械の型式名のご確認	1
1.まえがき	2
2.安全について	2
2.1 警告用語の種類と意味	2
2.2 型式警告ラベルについて	3
2.3 安全に作業を行うための注意事項	4
3.機械の仕様、構成	5
3.1 機械の仕様	5
3.1.1 主要諸元	5
3.1.2 機械の寸法図と構成部品	5
4.機械の使用	6
4.1 使用上の注意事項	6
4.2 使用方法	7
4.2.1 運転について	7
4.2.2 さつまいもの貯蔵について	8
4.3 寒冷地での使用について	9
4.4 保冷库を玄米の貯蔵に使用する場合	9
5.点検と掃除と廃棄	9
5.1 点検掃除	9
5.2 廃棄について	9
6.組立手順	10
6.1 組立の前に	10
6.2 組立の手順	10
6.2.1 組立・設置に必要な工具類	10
6.2.2 梱包部品の確認	10
6.2.3 電源コードを通す	10
6.2.4 加温ヒーターの設置	11
6.2.5 電源のコードを繋ぐ	11
6.2.6 ペーパー加湿器の取付	12
6.2.7 端面のコーキング処理	12
6.3 適応機種以外への取付について	12
7.困ったときには	13

ご使用の前に

- 1.この機械を使用する前に、この取扱説明書を十分お読みください。
その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
- 2.この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
従って機械の運転、保守・点検および組立を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分配慮してください。
- 3.この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か、本社営業本部にお問い合わせください。
- 4.この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。
紛失した場合は、購入先へ注文してください。
- 5.この機械の組立にあたっては、この取扱説明書の（6.組立要領）の項をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上で、安全に注意して組立してください。

機械の型式名のご確認

機械の型式名が銘板に記入されています。
製造ロットは製造ロットシールに記載されています。
ご確認の上、背表紙の保証書の記入欄に書入れてください。

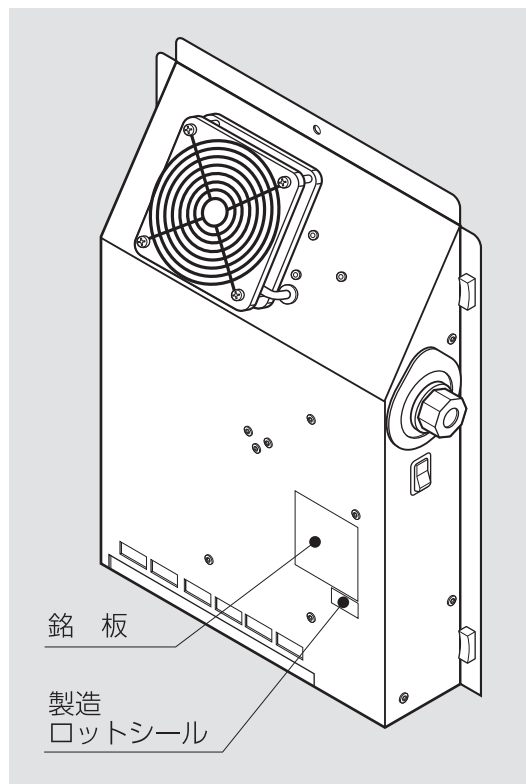
購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名を一緒にご連絡ください。

適用型式：GBX、GB-H、GB-F

部品の供給年限

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、**製造打ち切り後6年**といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格に付いてご相談させていただきます。



1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・使用範囲、機械の構成及び使用電源について説明しています。

1.取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検、組立要領の説明が記載されています。

2.機械の使用目的・使用範囲

この機械は、静岡製機（株）製農産物・玄米低温貯蔵庫のオプションとして設計されています。必ず静岡製機（株）製の農産物・玄米低温貯蔵庫に取り付け、他メーカー保冷库への取付、または単体ではご使用しないでください。

加温ちゃんIMO-H（加温ヒーター）は**加温専用**です。冷却はできません。

3.使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**で、電源電圧が90～110Vの範囲でご使用になれます。200V電源では、絶対に使用しないでください。

2 安全について

この機械を取扱う前に必ずお読みください。

この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

2.1.警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容、及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合に従って次の2段階に分けています。

この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検、組立を行ってください。

危険等を喚起する表示・標識の種類	喚 起 す る 内 容
	「警告」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 死亡又は重傷事故 につながることもあり、 十分ご注意ください 内容です。
	「注意」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 ケガなどの事故 につながることもあり、 ご注意ください 内容です。

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、上の警告事項とは区別しています。

重 要

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。

注 意

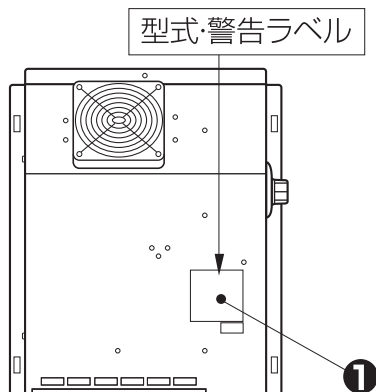
一般的な留意事項

 **注 意**

- この機械の運転操作、保守・点検、組立は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
- 取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、弊社営業所にお問合せ、確認してから作業を始めてください。

2.2.型式警告ラベルについて

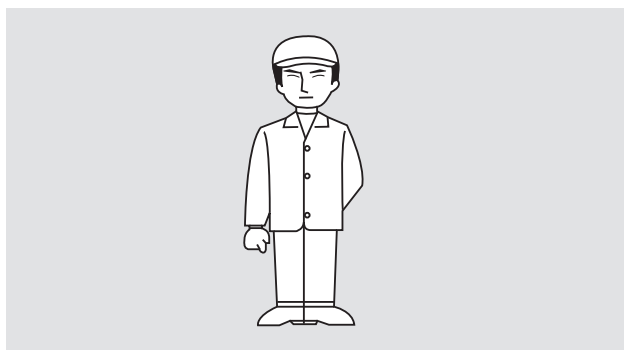
機械の、特に注意を要する箇所に取り扱について記した型式警告ラベルが貼ってあります。これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。



図面表示番号	標識	名 称	貼 付 位 置	品 番
1	警告	型式・警告ラベル	パネル前面	11772-215036

2.3.安全に作業を行うための注意事項

安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。

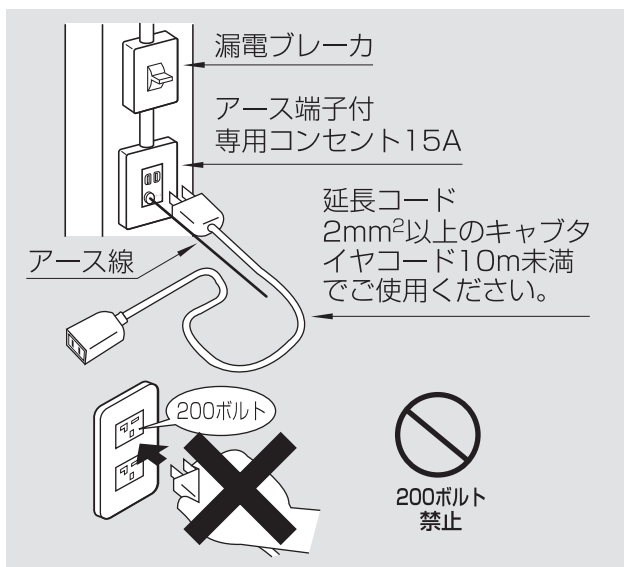


1 作業者の服装と健康

- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 過労や病気、酒気おびの状態で作業しないでください。
- 収納物の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。
また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
- 頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

2 電源配線とアース

- この機械は交流100V専用です。
- 交流200Vは絶対に使用しないでください。
- 機械の電源は感電事故防止のために、**漏電ブレーカ(定格電流15A／定格感度電流30mA)があるコンセント(15A)から配線**してください。
- 延長コードは電圧降下を防止するために**2mm²以上の太さで、10m未満の長さ**にしてください。
- 他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
- 感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。



重要

上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。

3 掃除・点検・整備の時の安全

- 各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
- 電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。
感電・火災・ケガ・故障の原因になります。



3 機械の仕様、構成

この章では、機械の仕様、構成、使用範囲について説明しています。

3.1.機械の仕様

3.1.1.主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

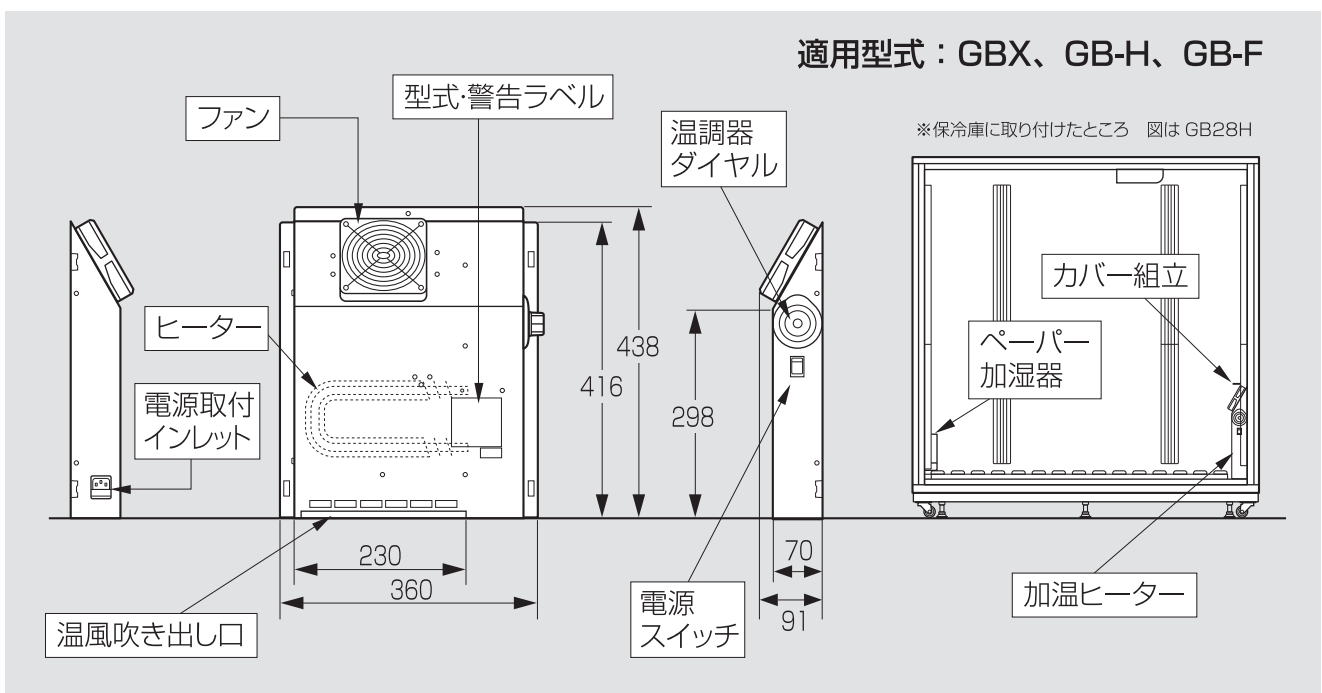
名	称	加温ヒーター
型	式	IMO-H
寸	法	91×360×438
電	源 (V/Hz)	単相100V・50/60Hz
消	費 電 力 (W)	211/214(50/60Hz)
ヒ	ー タ ー	シーズヒーター
使	用 周 囲 温 度 (℃)	−20〜20℃（保冷库の設置されている環境の温度）
温	度 設 定 (℃)	0〜40℃（外気温度以下にはなりません）
付	属 品	カバー組立、ペーパー加湿器

重 要

周囲温度が低い場合、庫内温度が上がりきらない場合があります。この装置の能力は外気温度+30℃程度となります。

3.1.2.機械の寸法図と構成部品

機械の寸法図と構成部品



4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項と使用方法について説明しています。

4.1.使用上の注意事項

注意事項	注意事項が守れなかった場合の不具合
● 設置 1. すのこを使用し、その上に貯蔵物を保管するようにしてください。 2. 温風吹き出し口を塞がないでください。 3. 本体下側を保冷库の床面につけて使用してください。	1. 庫内が均一に温められず、保冷物の腐敗や凍結につながる場合があります。 2. 庫内が温まらず、保冷物が腐敗・凍結します。また、機械の故障の原因になります。 3. 庫内が均等に温められないだけでなく、思わぬケガの原因になります。
● 使用 1. 内容物を貯蔵する場合、風を当てたくない物（葉物野菜等）はラップで包む・箱に入れる等適時工夫してください。 2. 温調器ダイヤルを無理に回さないでください。 3. 貯蔵物は定期的に確認してください。 エチレングスの発生するものは吸着剤を入れてください。 炭酸ガスの発生するものは定期的に換気をしてください。 4. 既に傷んでいる物はいれないでください。 例：収穫時で病班が見られたもの。 降霜後収穫し、低温にあたったもの。 収穫時、搬送時にキズが多く付いたもの。 〈キュアリング時〉 洗った芋はいれないでください。 経験の無い方は、指導機関等に指導を仰いでください。	1. 内容物が乾燥し、品質の低下、保存性期間の低下の原因になります。 2. 機械が故障する可能性があります。 必ず 0～40℃の範囲でご使用ください。 3. 農産物は確実に貯蔵できるものではありません。鮮度向上機能はございません。必ず定期的に確認してください。 換気をしないと腐敗の原因になります。場合によっては本体に水滴が付きサビたり臭いが取れなくなります。 4. 腐敗の原因になります。
5. 貯蔵中はドアを閉めてください。	カビや腐敗の原因になります。 キュアリングで失敗しても、投入した作物の補償は負いかねます。 5. 庫内が温まらないことがあります。 また、貯蔵物が乾きやすくなります。
● 掃除 1. 保冷库内は定期的に掃除を行ってください。 2. ドア等、結露する場合は乾いた布等で定期的に拭いてください。	1. 埃が常にある環境では機械の寿命が短くなる可能性があります。 2. ドア部は結露しやすい部分です。 乾いた布等で適時掃除をお願いします。

4.機械の使用

4.2.使用方法

⚠ 警告

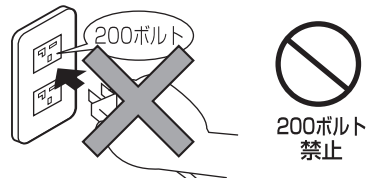
漏電ブレーカを取付けてください。

⚠ 注意

この機械は交流100V専用です。

⚠ 警告

交流200Vは絶対に使用しないでください。



⚠ 警告

1.15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。

2.安全のため漏電ブレーカ(定格電流15A／定格感度電流30mA)を取付けてください。

3.コードリールは使用しないでください。

4.たこ足配線は、絶対しないでください。

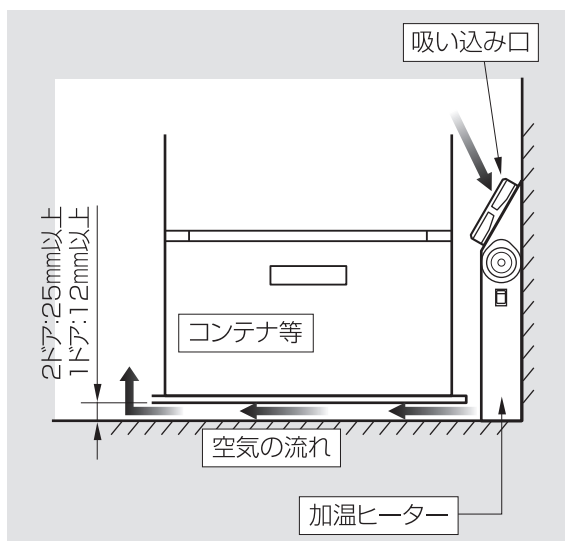
5.電源コードは踏みつけしないでください。

4.2.1.運転について

- 加温ヒーターの電源をいれます。(電源を入れるとファンが動きます。)
- 加温ヒーター本体の温調器で温度を設定します。
(温調器ダイヤルを回し、設定したい温度をベース板の赤点に合わせます。)
- 温度計などで庫内の温度を定期的に測定し、温調器ダイヤルで合わせるとより正確に温度調整が可能です。

冷蔵ユニット搭載時

- 外気温が高い時期(主に秋口)は、野菜の呼吸等で庫内温度が上昇しやすいことがあります。その際は、冷蔵ユニットをONさせ温度上昇を防いでください。
さつまいも 15℃保管の例：野菜モード 設定14℃ 等
- ユニットをONさせる場合は外気が0℃以上で使用してください。(ドレン水が凍結します。)



重要

温風は床面に沿って流れます。

風の流れを阻害しないような「すのこ」の使用をお願いします。

温風を流すために「すのこ」の高さを守ってください。

- 2ドアタイプ：25mm以上
※32～20袋タイプ保冷库
(当社純正木製すのこ)
- 1ドアタイプ：12mm以上
※14～5袋タイプ保冷库
(当社純正樹脂製すのこ)

4.2.2.さつま芋の貯蔵について

〈参考資料〉

※下記の貯蔵方法は一例です。投入した作物の補償は負いかねます。
農業指導機関等で別途指導があればそちらに従うようお願いします。

①まえがき

- 既に傷んでいる物はいれないでください。腐敗の原因になります。
例：収穫時点で病班が見られたもの。降霜後収穫し、低温にあたったもの。
収穫時・搬送時にキズが多くついてしまったもの。
- さつま芋の収穫時の注意
 - ・晴天が続いた日に収穫しキズのないものを選別
 - ・泥付きで日陰で3日間の風乾燥（自然乾燥）
 - ・水洗いは不可（水がつくと傷むため）・乾いた泥を手で払う

②貯蔵前の準備

- 収穫後3日間は呼吸量が多いので、呼吸が落ち着くまで外気にさらしてください。
※さつま芋の収穫 ⇒ 自然放置 ⇒ (キュアリング処理) ⇒ 貯蔵の順序で行なってください。
キュアリング処理については農業指導機関等で別途指導を仰いでください。
- 貯蔵は外気温（周囲温度）が10℃ぐらいい下がってから行なってください。
※さつま芋は呼吸し、発熱します。外気温が高いうちに保存すると庫内が設定温度よりも高くなる可能性があります。
- さつま芋の貯蔵条件

温 度	13～15℃	品種により多少異なります。
湿 度	85～90%	貯蔵量が少ない場合は、付属の加湿器で湿度を補ってください。

③貯蔵

- 1) 保冷库庫内に加温ヒーターをセットします。
加温ヒーターの設定温度を13～15℃に設定します。
- 2) コンテナ等の通気性がある容器へさつま芋を入れて、保冷库内に入れてください。
加温ヒーターのスイッチをONして、貯蔵を開始します。

※庫内は高湿環境（85～90%）になります。
段ボール等湿気に弱い物へ入ると荷崩れの原因になります。

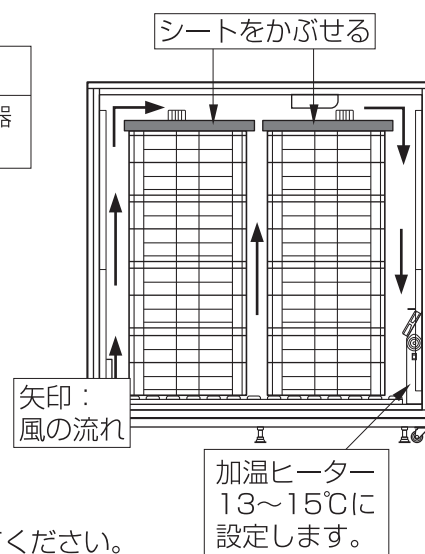
- 3) 貯蔵中の作業 貯蔵中は3～5日に1回、下記の作業をしてください。

間 隔	項 目	作 業 内 容
3～5 日	1. 庫内の換気	ドアを開け、庫内の空気を換気してください。 ※さつま芋は呼吸しています。炭酸ガスの濃度が上がると貯蔵性に影響します。
	2. 内容物のチェック	腐敗物の有無を確認してください。 腐敗物があれば取り除いてください。
	3. 庫内結露の確認	ドア（マグネットパッキン）、庫内の結露確認をしてください。 結露がひどい場合は拭いてください。 ※寒い日が続くとユニット部から水滴が垂れることがあります。 コンテナの上にシートをかぶせて、さつま芋がぬれないようにしてください。

暖かい日が続く場合は、庫内温度が上昇しすぎないように日中はドアを開けておく等の対応をお願いします。
冷蔵ユニット搭載時は、冷蔵ユニットの電源を入れ庫内温度の上昇を防ぐのも効果的です。

④貯蔵終了

- 春になり、気温が上がってきたら加温ヒーターの電源を切り、貯蔵を終了してください。
（目安は、平均気温が12℃前後になる春分の頃です。）
- 保冷库のドアを開け、庫内を乾かすようにしてください。



4.3.寒冷地での使用について

- 保冷库設置場所の周囲温度が -5°C 以下になる場所では、内容物によってはドア回りで結露が発生し、ドアが凍結してしまう場合があります。
- その際は、ドアヒーター電源切替ボックス(型式:IMO-DH・別売)を取り付け、保冷库のドアヒーターを作動させてください。ドアヒーター切替ボックスはGB14F~32F、GB14H~32Hのみ取り付け可能です。(ドアヒーター電源切替ボックスは別オプションになります。)
- ※GBXシリーズでは、中仕切ヒーター(別売)を取付け、ヒーターを作動させてください。

4.4.保冷库を玄米の貯蔵に使用する場合

- 加温ヒーターの電源を切り、冷蔵ユニットを運転させてください。

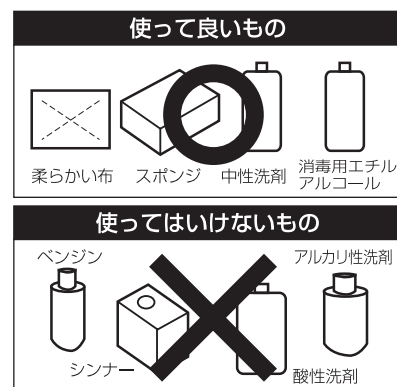
重要

玄米を収納する際は、米袋でガードを曲げないように注意してください。ペーパー加湿器を取り付けた場合は、金具等で米袋を破らないように注意してください。

5 点検と掃除と廃棄

5.1.点検掃除

- ファン、温風吹き出し口がふさがれていないか確認してください。
- 貯蔵物に付いていた土、泥等が保冷库の床面に落ちている場合は掃除をしてください。床面の温風の流れがふさがれると庫内を均等に温められなくなる場合があります。
- よごれた場合は薄めた中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて拭いてください。
- カビがみられるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。アルコールの臭いがなくなるまで、保冷库のドアをあけておいてください。



警告

- 1.消毒用エチルアルコール以外の溶剤(例えばベンジンやシンナーなど)や酸性やアルカリ性の洗剤(風呂用洗剤など)は絶対に使わないでください。
- 2.加温ヒーターには直接水をかけないでください。漏電や故障の原因になります。
- 3.掃除する場合は電源プラグを抜いてから行なうようにしてください。

5.2.廃棄について

- 廃棄される場合は、廃棄物処理法により適正に処理してください。(不正投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。)
- 地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。
- 詳しくは各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。
- 廃棄には費用が掛かりますので、お客様のご負担をお願いします。

6 組立手順

この章では、機械の組立について説明しています。

6.1.組立の前に

重要

- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 体調が良くない、フラフラするなど健康に異常がある時は作業しないでください。
思わぬ作業ミスやケガの恐れがあります。
- 連携作業は、足元を確認した上で声を掛け合って行ってください。
- 必要な工具を準備してください。
- 必要な部品が揃っていることを確認してください。

6.2.組立の手順

6.2.1.組立・設置に必要な工具類

必要な工具類を準備してください。

ドライバー（プラス#2）	カバー組立、ドリルネジ固定用
ドリル φ10 程度	パネル内のウレタン除去に使用します

6.2.2.梱包部品の確認

部品が揃っていることを確認してください。

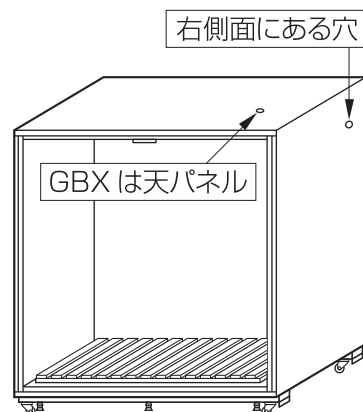
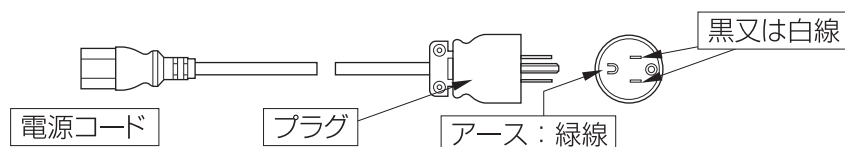
適用型式：GBX、GB-H、GB-F

品 名	個 数	備 考
加温ヒーター組立	1 台	
カバー組立	1 個	
電源コード	1 本	5m
ケーブルブッシュ φ22	2 個	GBX、GB-H C-01 ロット以降の製品で使います
ケーブルブッシュ	2 個	GB-F、GB-H D ロット品で使います
ドリルネジ	9 本	呼び径 4×13
不乾性パテ	1 塊	

品 名	個 数	備 考
シリコンコーキング	1 本	
ペーパー加湿器	1 個	
加湿器取付金具	1 個	
取扱説明書	1 冊	
コードクランプ	2 個	
変換アダプタ	1 個	3 芯 AC プラグを 2 芯のアース付へ変換します
マスキングテープ	1 個	

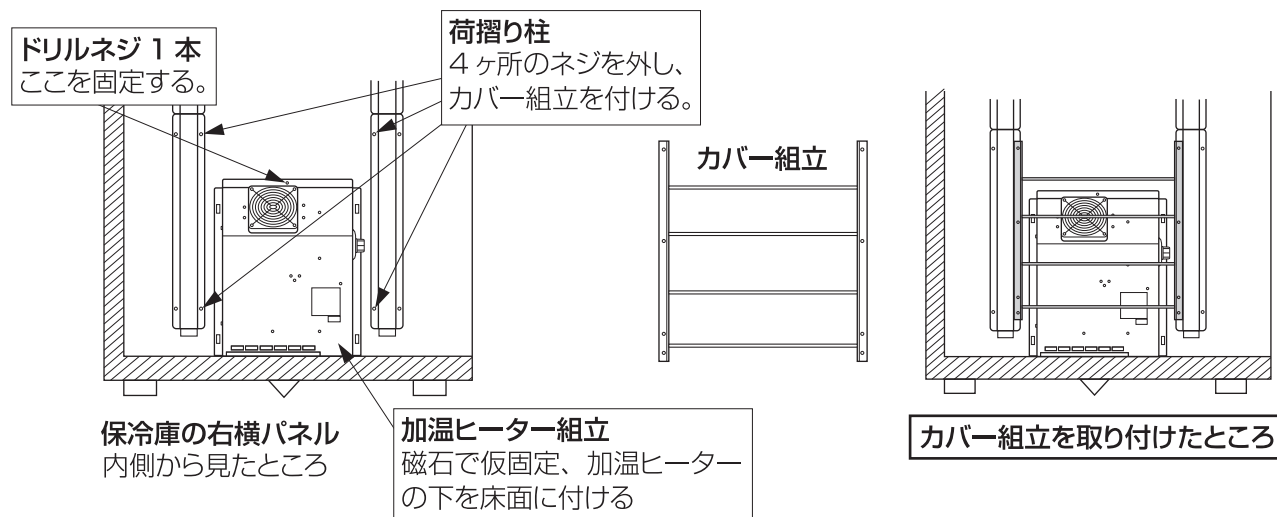
6.2.3.電源コードを通す

- 保冷库本体の右側パネルにあるコードを通す穴を開けます。
（右横パネル上側にあり、GB-F は緑、GBX・GB-H はシルバーのシールが貼ってあります。）
ドリル、ドライバー等、細長い物で真っ直ぐに突き、邪魔になるウレタンを取り除いてください。
- 電源コードのプラグを外し、内側から電源コードを保冷库本体のパネルに通します。コードを通した後、プラグを電源コードに組付けます。



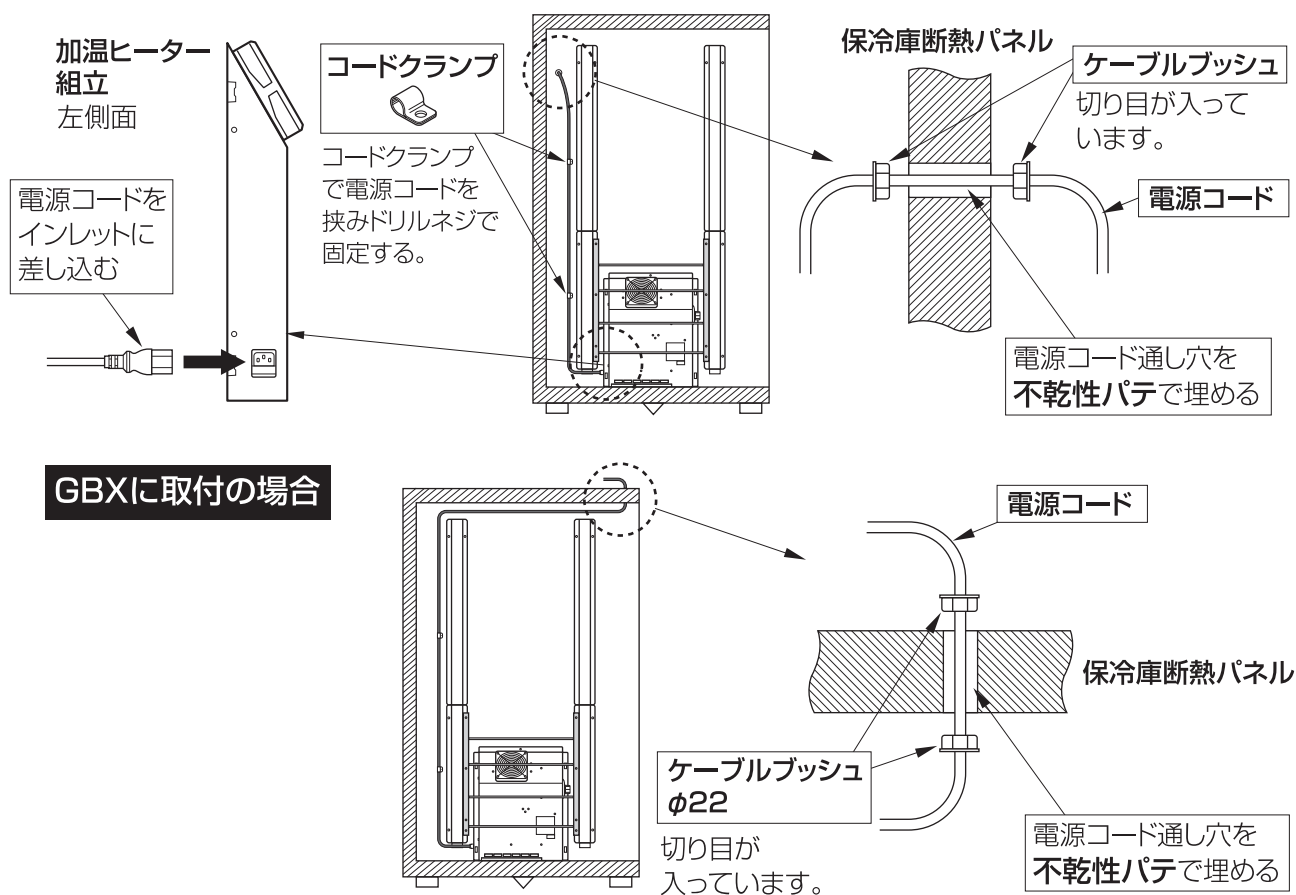
6.2.4.加温ヒーターの設置

- 庫内右側面の床側に加温ヒーターを置き、横パネルに磁石で仮固定します。
- ドリルネジで加温ヒーターを固定します。
- 荷摺り柱のネジ4ヶ所を取り外し、カバー組立と荷摺り柱を取り付けます。



6.2.5.電源コードを繋ぐ GB14F~32F、GB14H~32Hに取付の場合

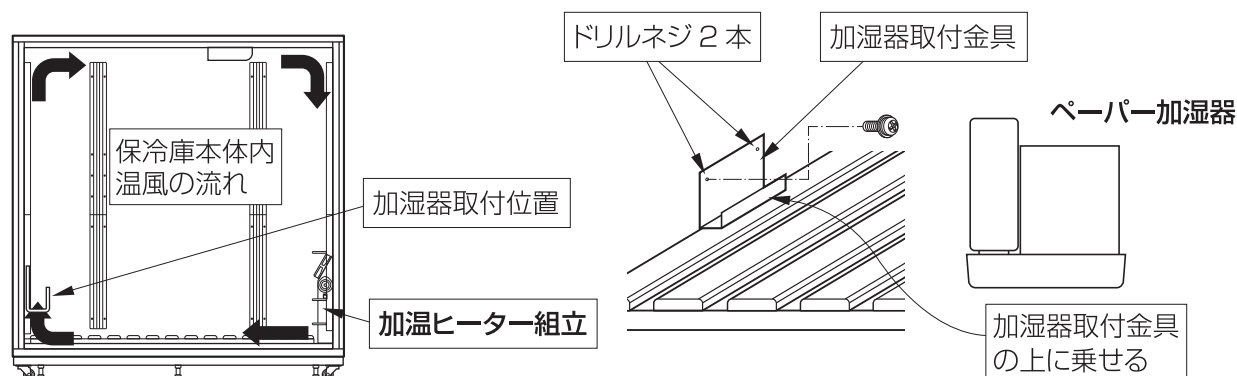
- 電源コードを加温ヒーター本体に差し込みます。その後、電源コードをコードクランプとドリルネジで壁に固定します。(2ヶ所)
- 庫内の空気漏れを防ぐために、電源コードを通した穴の隙間を不乾性パテでしっかり埋めます。
- パネルの端面で電源コードを傷つけないようにケーブルブッシュを取り付けます。



6.組立手順

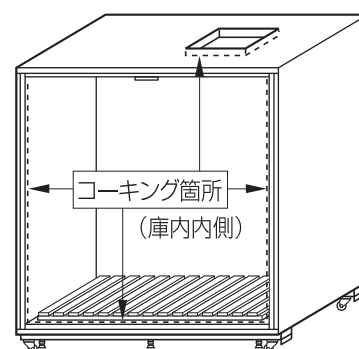
6.2.6.ペーパー加湿器の取付（加湿の必要がある場合のみ）

- 加湿器取付金具を加熱ヒーターとは逆側の横パネルにテープ等で仮止めします。
なるべく水平に取付けてください。風の通り道（床から100～150mmの位置）に置くと効果的に加湿できます。}
- 加湿器取付金具をドリルネジ×2本で固定します。
- ペーパー加湿器を箱から出し、取り付けます。



6.2.7.端面のコーキング処理

- 庫内が高湿になると、庫内鋼板の端面がサビることがあります。
- 付属のコーキング材で、端面部にコーキング処理をお願いします。
（付属のマスキングテープは適宜使用してください。）
- 効果的な場所は、冷蔵ユニットと本体の継ぎ目（必要に応じて風向板を取って塗ってください）。
本体前側面です。
- コーキング後は、1日程乾かしてからご使用ください。



6.3.適応機種 (GB14F～GB32F、GB14H～GB32H、GBX)以外への取付けについて

※弊社以外の製品、3000、6000クラスの製品には取付けできません。

必要工具

品 名	個数	備 考
電動ドリル	1	パネル加工に使います
50mm 以上加工可能なドリル	1	φ5 程度の物が加工しやすい
ホルソー φ22 又はφ16	1	パネル加工に使います

1 ドリルで、厚さ50～60mmのウレタンパネルに貫通穴を開けます。（パネル表裏の位置出しです。）
（ホルソーでは貫通不可の為、ドリルで表裏の位置出しを確実にこなしてください。）

天パネルは機種によってはコードが入っていますので、必ず壁パネルを加工してください。

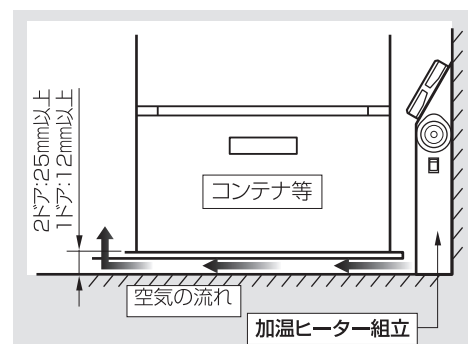
2 ホルソーでφ22 又はφ16の穴を開けます。（付属のケーブルブッシュがφ22、φ16のため）

3 加熱ヒーター取付の際、荷摺り柱が邪魔になる場合は、荷摺り柱を取り外してください。カバー組立を付属のドリルネジで取り付けてください。

4 すのこが邪魔になる場合はすのこを加工してください。
温風が流れる「すのこ」の高さは下記の高さを守ってください。

2ドアタイプ：25mm 以上（当社純正木製すのこ）

1ドアタイプ：12mm 以上（当社純正樹脂製すのこ）



7 困ったときには

この章では、機械の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

機械の様子がおかしいと思ったときには、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。

それでもなお調子が悪いときは、購入先、又は弊社にご連絡ください。

機械の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参 照
庫内が 温まらない	1.電源は入っていますか 2.温風吹き出し口はふさがれていませんか 3.「すのこ」は使用していますか 4.ファンは回っていますか 5.保冷库のドアが開いていませんか	1.電源プラグを確認してください。 2.温風吹き出し口はふさがらないでください。 3.「すのこ」を使用してください。 4.ファンの故障は購入先にご連絡ください 5.保冷库のドアを閉めてください。	P.7 P.7 P.7 背表紙 P.6
貯蔵物が 乾く	1.直接温風を当てていませんか 2.保冷库のドアが開いていませんか	1.ラップ等で包んでください。 2.保冷库のドアを閉めてください。	P.6 P.6
貯蔵物が 腐敗する	1.貯蔵物に適した温度になっていますか 2.設定温度以上になっていませんか	1.温度を再設定する。 2.時期によっては冷蔵ユニットを ON させ庫内の温度上昇を防いでください。	P.7 P.7
庫内に水滴 がつく	1.換気は定期的に行なっていますか？ 2.暖かい季節に使用していませんか	1.換気をしないと貯蔵物が傷みやすくなります。また、機械の寿命も短くなります。 2.サツマイモであれば、外気が10℃になってからヒーターをONにしてください。 水滴は拭き取ってください。 冷蔵ユニット搭載の場合は、ユニットをONさせ庫内の温度上昇を防いでください。	P.6 P.8 P.8 P.7
貯蔵物が カビる	1.洗ったさつま芋を入れていませんか 2.キズが付いた物、低温になった物を入れていませんか 3.設定温度以上になっていませんか？	1.洗うと作物は傷みやすくなります。 2.カビや病気のある作物を入れないようにしてください。 3.時期によっては冷蔵ユニットを ON させ庫内の温度上昇を防いでください。	P.6 P.8 P.9 P.6 P.7

※庫内の鋼板端面にサビが出ないように、端面のコーキング処理をしてください。
特にキュアリング時は高湿になります。

製品保証書

保証期間 1 年

型 式： IMO－H

製造ロット： ー

お客様記入欄 お名前	販売店様記入欄 販売店名称	印
ご連絡先	販売店様ご連絡先	
ご購入日		

弊社は、上記の製品単体について、下記の通り保証いたします。

- (1) 保証期間中に、正常な使用状態において生じた、製造上の責任による故障又は損傷につきましては、無償修理をいたします。
尚、無償修理において交換された旧部品は弊社の所有物となり、弊社が任意に処分できるものとしますのでご了承ください。
- (2) 次の場合は、保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - (イ) 取扱説明書に記載してある以外の使い方、誤った使用、過失及び整備、保管の不備により生じたと認められる故障等
 - (ロ) 納入後の転倒、衝撃、及び改造や純正以外のオプション、部品の使用が原因で生じたと認められる故障等
 - (ハ) 火災、地震、台風、落雷等の災害により生じたと認められる故障等
- (二) 使用損耗や経年変化により発生する現象
- (ホ) ご購入の販売店や弊社指定のサービス店以外で修理されて故障した場合
- (ヘ) その他上記に準ずるもの
- (3) 下記の場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。
 - (イ) 保証書の提示がない場合
 - (ロ) 製品の性能が、弊社規格内である場合
 - (ハ) 弊社製品の使用又は使用できなかったことによる二次的損害（逸失利益の損害、事業の機会の損失、その他金銭的損害等）
- (4) この保証書は、お買上げ時の領収書などの購入履歴のわかるのと併せて保管してください。
- (5) お客様がご記入されました個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますのでご了承ください。
- (6) 保証書を紛失された場合の再発行はいたしかねますのでご注意ください。
- (7) 本機の保証は日本国内で使用する場合に限りです。【This warranty is valid only in Japan】

 静岡製機株式会社

静岡県袋井市諸井1300

◎販売店に連絡がつかない場合は、最寄りの弊社営業所もしくは
営業本部へご連絡ください。

 静岡製機株式会社

北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	TEL.(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	TEL.(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	TEL.(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1	TEL.(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	TEL.(0538) 23-1725	FAX.(0538) 23-1726
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	TEL.(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	TEL.(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12	TEL.(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒835-0004 福岡県みやま市瀬高町山門1841-1	TEL.(0944) 88-9793	FAX.(0944) 88-9794
営業本部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	TEL.(0538) 23-2822	FAX.(0538) 23-2890

ホームページアドレス <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

11772-215041B
S2201